

やつぱり阿弥陀さん

真宗興正派
本山興正寺

報恩講

令和6年
(2024)

11月21日(木)～28日(木)

午前7時 晨朝勤行
午前10時 日中法要
午後2時 繾夜法要
午後4時 初夜勤行

※21日の日中法要と28日の纀夜法要はございません。

報恩講に寄せて



真宗興正派宗務總長

秦 直樹

ようこそ宗祖親鸞聖人報恩講にお参り下さいました。報恩講とは毎年親鸞聖人のご命日であります十一月二十八日をご縁とし、九十年にわたる聖人のご労苦を偲び、そのご恩に感謝する法要であります。

聖人が顕かにされたまことのみ教えを聞信し、共に念佛を申す身となつていくことを確認することが報恩講の大切な意味です。親鸞聖人のみ教えを仰ぐ私たちにとっては、最も大切な法要であるといえましょう。

現在、本山興正寺におきましては、興隆正法運動

のもと「やつぱり阿弥陀さん」をスローガンに、聞く・喜ぶ・伝えるの三つの教化テーマのもと、様々な形で教化活動を行なつております。お寺にお参りする目的は阿弥陀さまが私を救うためにかけてくださつている願いを、私自身がしつかりと聞くためだと受け止め、仏法をとおして我が身を振り返つていただければと思うところでございます。

どうぞこの報恩講をご縁として、より一層親鸞聖人のみ教えをいただき、阿弥陀さまに願われている我が身のありがたさを感じていただければ幸いに存じます。



記者が見た能登 被災地報道写真展 2024

真宗興正派本山興正寺の報恩講期間に合わせて興正寺と文化時報社は、能登半島地震の被災地支援を目的とした共催イベントを行います。期間中は被災地の写真展やお坊さんの法話などのほか、関連イベントでバザー や防災グッズの紹介、キッチンカーの出店などさまざまな催しを予定しています。

報恩講とは?



親鸞聖人の御命日である11月28日をご縁に、90年にわたる聖人のご苦労をお偲びし、そのご恩に感謝する法要が「報恩講」です。聖人のご恩に感謝する中で、聖人があきらかにされた真実の「み教え」をたずね聞かせていただき、共にお念仏をよろこぶことこそが報恩講の大切な意義です。

真宗門徒にとって、報恩講は最も大切な法要です。

親鸞聖人ってどんな人?



親鸞聖人は、平安末期から鎌倉初期という激動の時代を生き、真実の浄土の教えをあきらかにしてくださった、浄土真宗の御開山(開祖)です。

聖人は9歳の時に「真実の救いの道」を求めて出家し、20年にわたって比叡山で厳しい修行を積ますが、真実の道を得ることは出来ませんでした。しかし、聖徳太子の導きによって法然上人と出遇い、「ただ念佛して弥陀にたすけられよ」という浄土真実の大道に入られたのです。それ以来、90年の御生涯を閉じるまで、専らに念佛の「み教え」を説き示し、お伝えくださいました。

令和6年 報恩講 御堂法話



福井県
北岑 大至

11月21～24日



香川県
林 和英

11月25・26日



兵庫県
谷口 亮昭

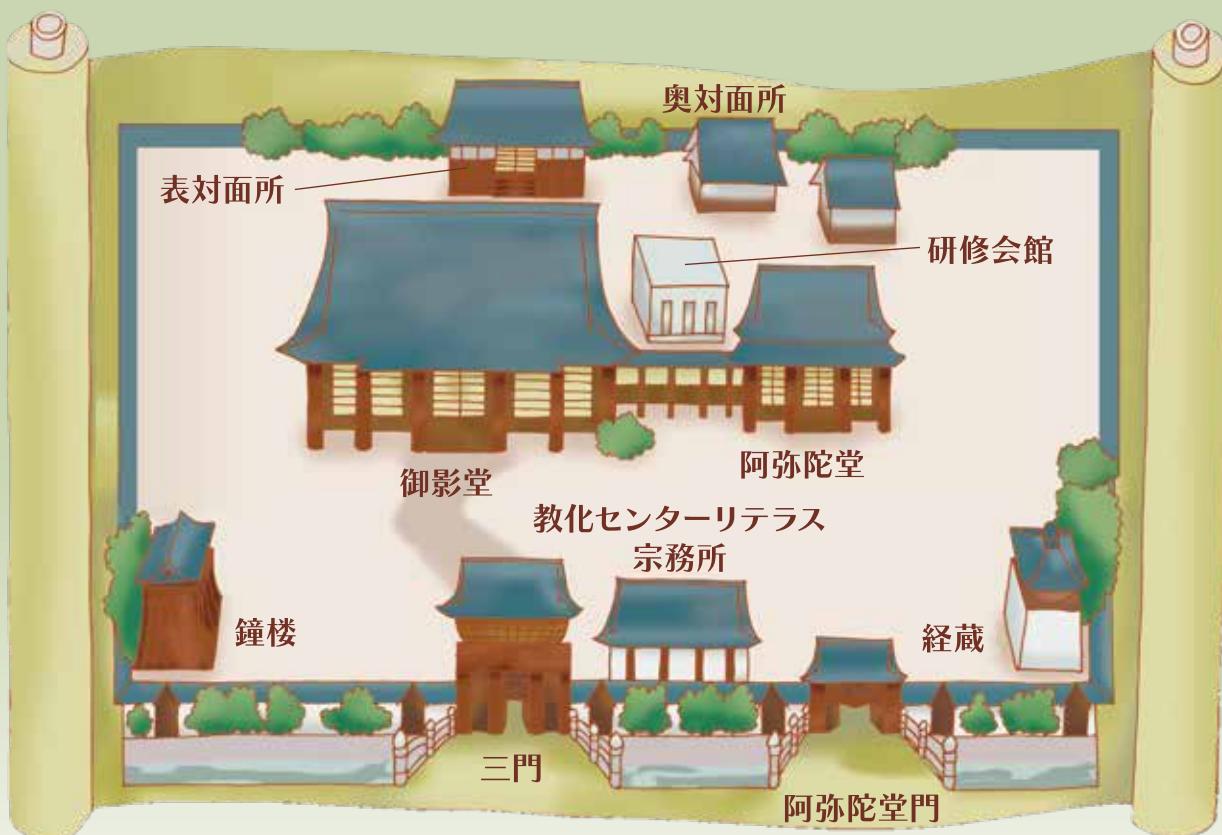
11月27・28日

11月25日・26日・27日の3日間

守田 秀生氏(北海道教区 了善寺 住職)による
幌加内蕎麦の接待がございます。
ぜひご賞味ください。

※数には限りがございます。





真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル

TEL 075-371-0075 FAX 075-371-8509

